

2021年3月期 第3四半期

# 決算説明会

JKホールディングス株式会社 (9896)

代表取締役社長 青木 慶一郎



2021年2月15日



スマイルが生まれる住まい

JK Holdings Co., Ltd.

# エグゼクティブサマリー

2021年3月期 第3四半期

業績

売上高	2,551	億円	前年同期比 8.9%減 ↓
経常利益	39	億円	前年同期比 0.4%増 ↑
親会社株主に帰属する 四半期純利益	23	億円	前年同期比 4.8%増 ↑

・売上高につきましては、前年同期比8.9%減少いたしました。その減少幅は住宅着工戸数の減少を下回る水準にとどまりました。

・昨春稼働開始した株式会社キーテック山梨合板工場の稼働率の向上に加え、全社的に粗利率が向上しました。

・販管費が減少、新型コロナウイルス感染症への対応に伴う雇用調整助成金の受入れなどにより経常利益は0.4%増加いたしました。

・遊休不動産の売却益やM & Aに伴う負ののれん発生益を特別利益に計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益4.8%増加いたしました。

通期計画

売上計画	3,420	億円	計画進捗 74.6%
経常利益計画	42	億円	計画進捗 93.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益計画	25	億円	計画進捗 94.8%

配当

中間配当	9	円
期末配当	10	円 (予想)

※2021/2/5に業績予想の上方修正を開示いたしました。

業界及び同業他社について

5ページ

JKホールディングス(株)について

8ページ

2021年3月期第3四半期決算概要

12ページ

当社セグメント別の取り組み

16ページ

中長期経営計画について

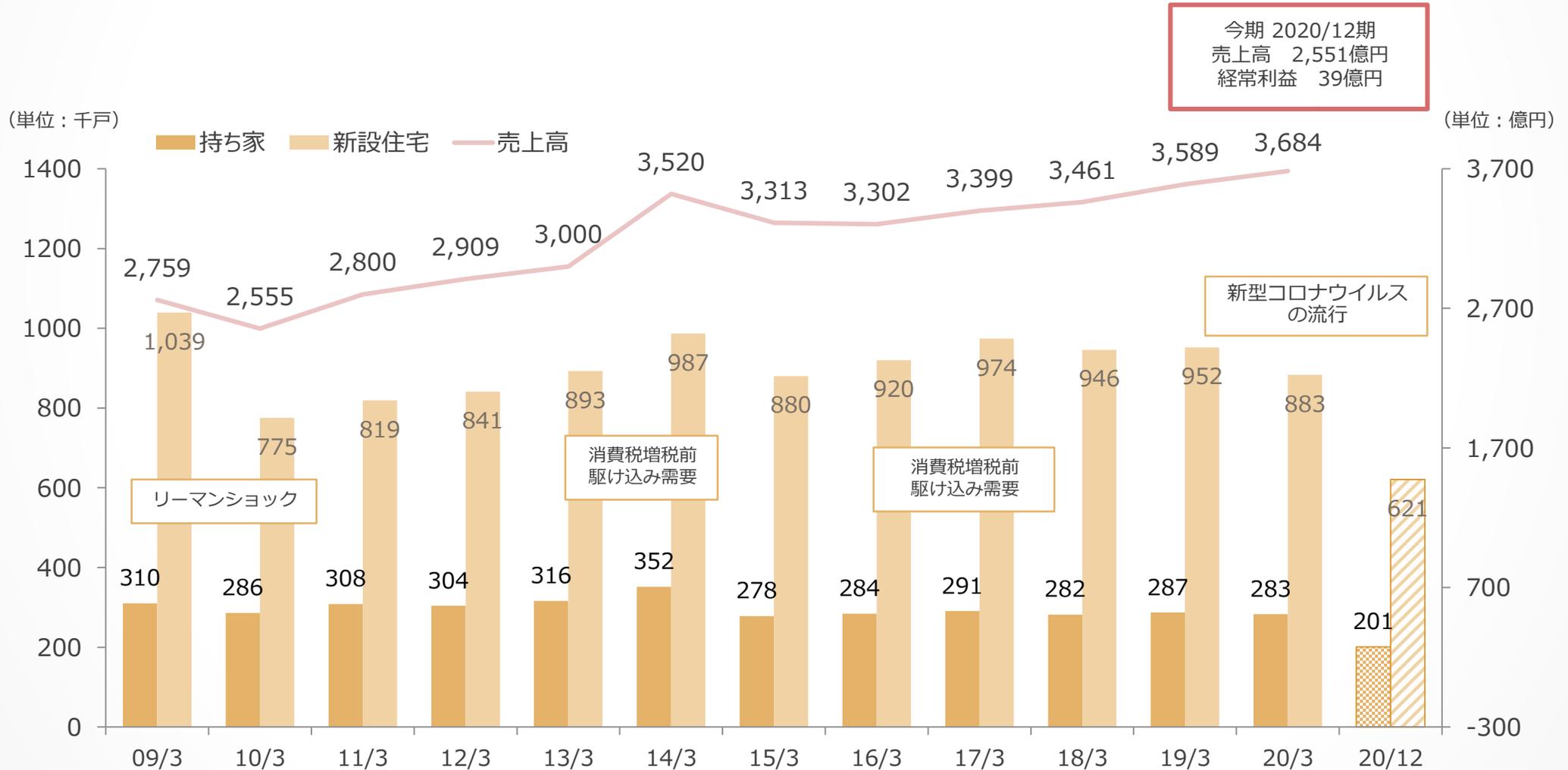
20ページ

# 業界および同業他社について

# (1) 戸建住宅着工数（持ち家）

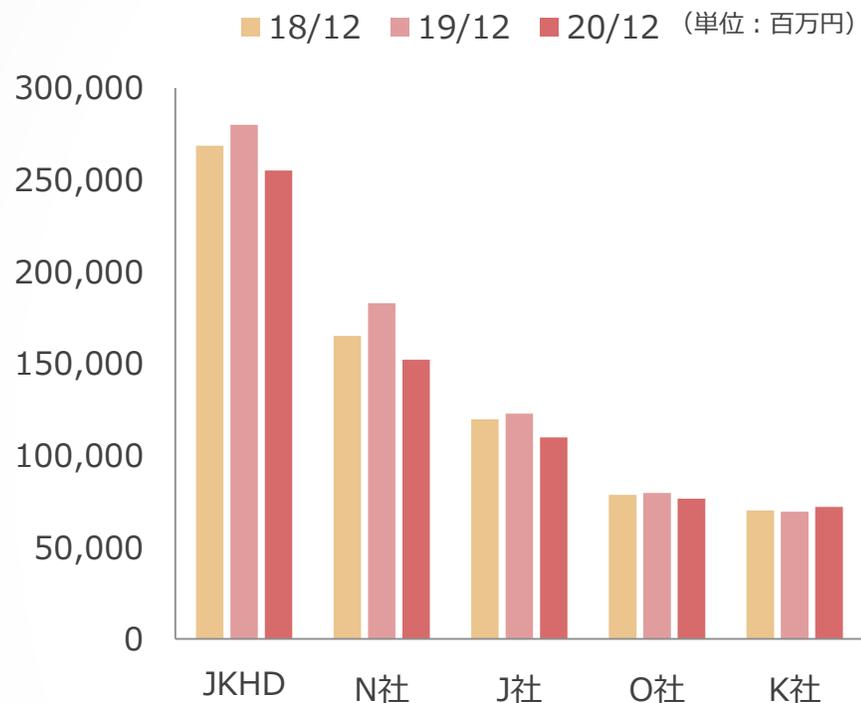
住宅着工

新設住宅着工の動きは、全体で621.1千戸（前年同期比9.9%減）、当社グループが主力とする持ち家着工戸数は201.1千戸（同10.0%減）と第2四半期連結累計期間に比べて減少幅が若干縮小しました。

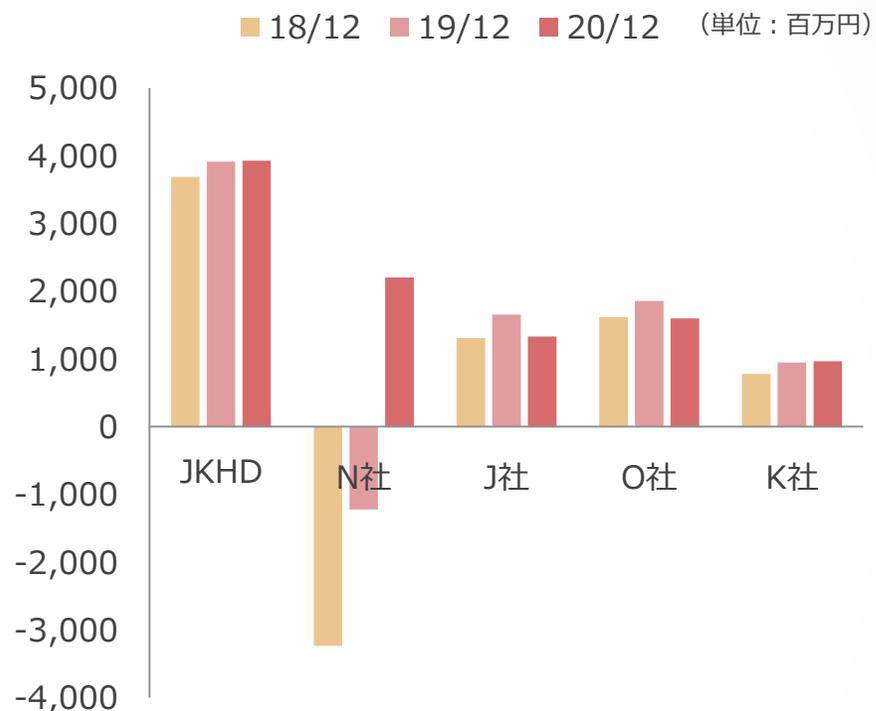


## (2) 同業他社との業績比較 (木質建材卸売事業)

### ■ 売上高



### ■ 経常利益



### ■ 前期比較

	JKHD	N社	J社	O社	K社
売上高	▲8.9%	▲16.7%	▲10.5%	▲3.9%	3.9%
経常利益	0.4%	-%	▲19.5%	▲13.7%	2.0%

# JKホールディングス(株)について

## 企業理念

### 「快適で豊かな住環境の創造」

当社グループは、住宅建築資材の流通業を主要事業とし、「快適で豊かな住環境の創造」という企業理念の下、より良い住宅資材を、適正価格で、お客様の要望される場所にお届けすることを目標に、営業活動を展開しております。

また、単にモノを販売するだけでなく、お客様に経営のノウハウを提供することで、お客様との共存共栄を図る仕組みづくりにも取り組んでおります。

## 基本情報（2020年12月31日現在）

商号	J Kホールディングス株式会社 (JK Holdings Co.,Ltd.)	創業	1937年10月
代表者	代表取締役社長 青木 慶一郎	所在地	東京都江東区新木場1-7-22
資本金	3,195百万円	事業の内容	① 総合建材卸売事業 14社 ② 合板製造・木材加工事業 9社 ③ 総合建材小売事業 22社 ④ その他 18社
従業員数	3,168名（連結）		

## (2) JKホールディングスグループ事業概要



スマイルが生まれる住まい  
JK Holdings Co.,Ltd.

川上

### 素材調達

原木調達・植林



### 製造業

合板製造・集成材製造



通商株式会社

### 卸売・小売

建築資材販売代理・物流機能  
基礎資材、住宅設備機器販売



### 建築・サポート

フラット35  
住宅完成保証ハートシステム



市場ニーズのフィードバック  
持続可能な社会の実現

市場のニーズを踏まえた  
建築資材供給

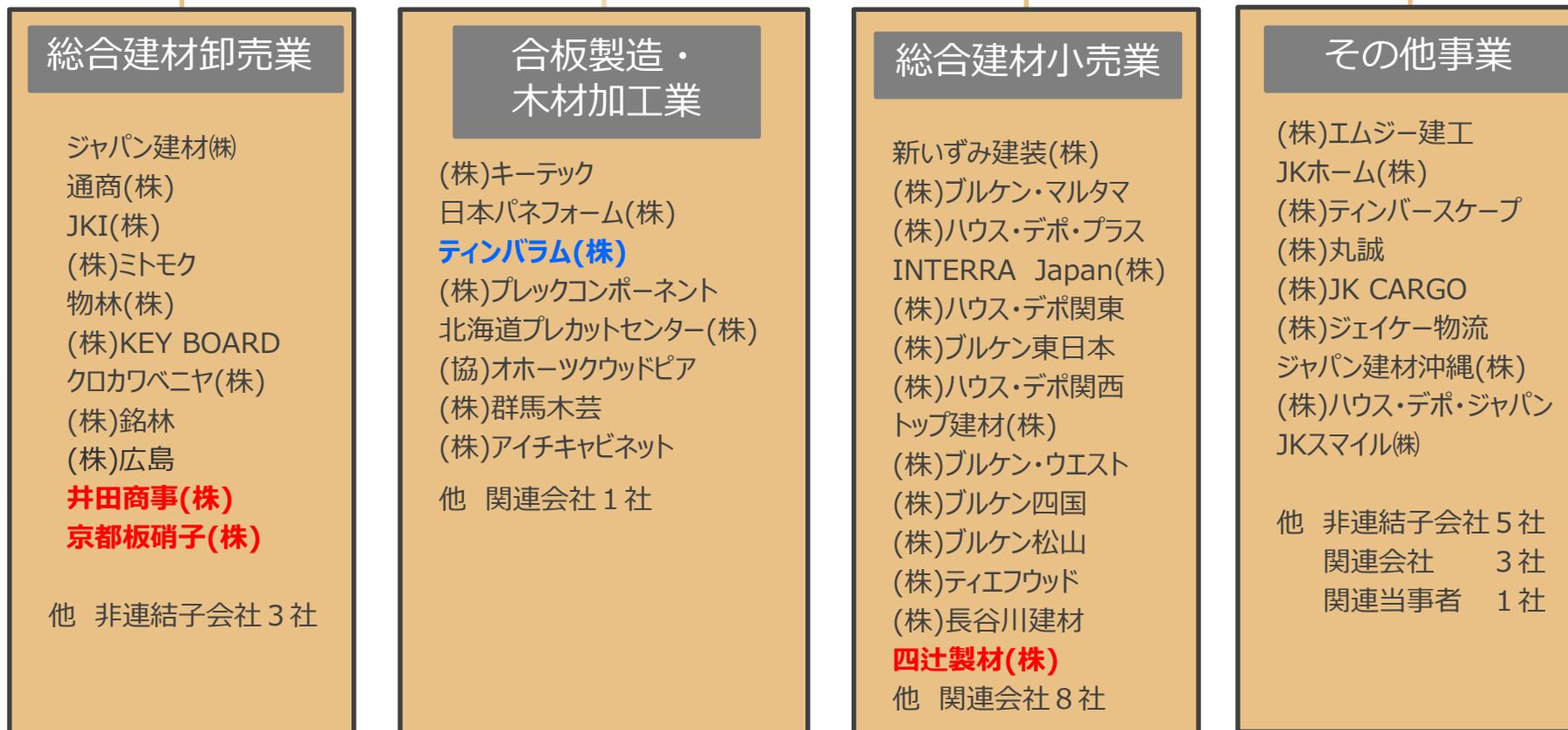
川下

# (3) グループ企業一覧

住宅建材の「専門商社」であるジャパン建材(株)を中核会社に、住宅関連企業をグループ傘下に展開する  
純粋持株会社です。



(2020年12月31日現在)



※赤字は2021年3月期に新たにグループに加わった会社、青文字は組織再編により名称が変更になった会社です。

# 2021年3月期 第3四半期 決算概要

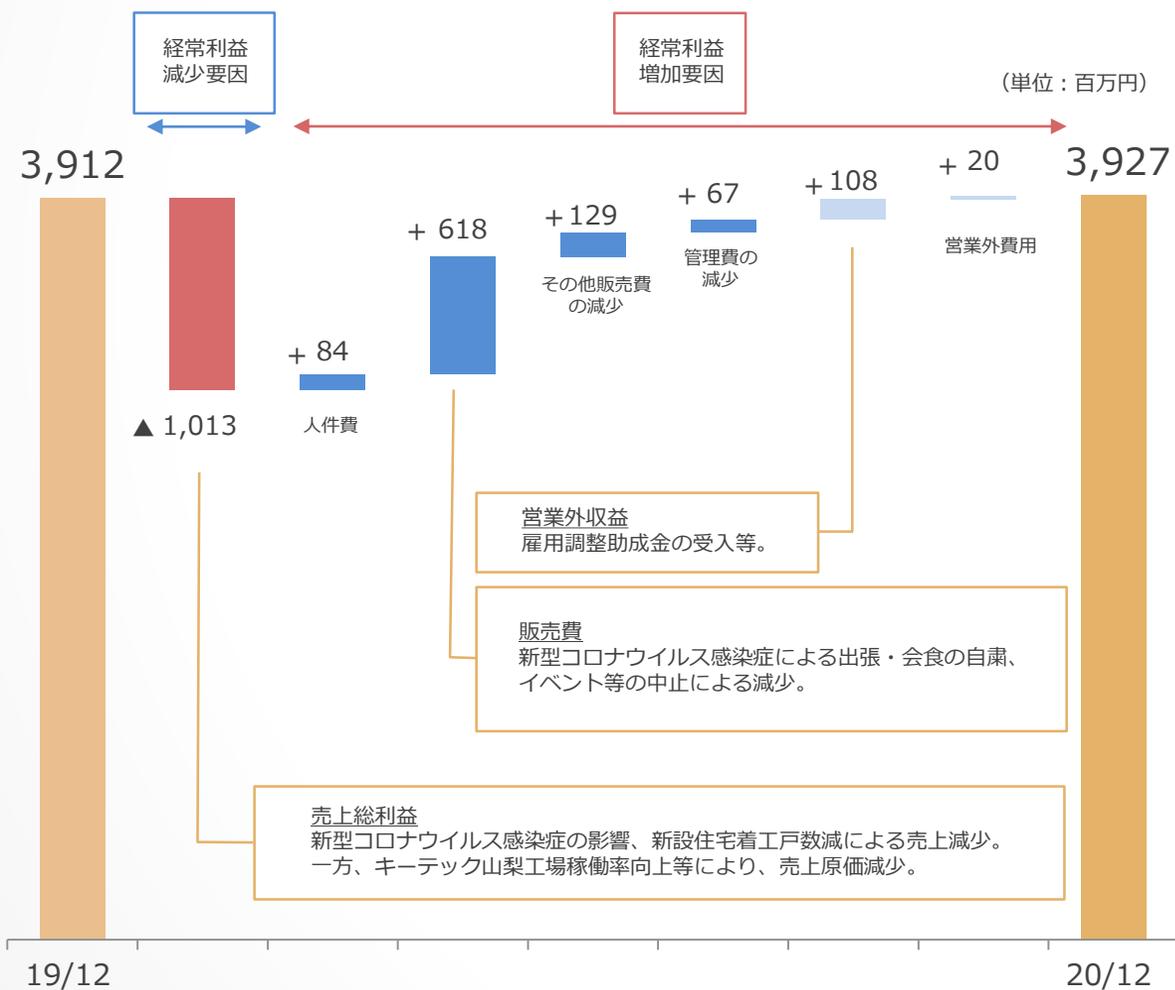
# (1) 連結業績

(百万円)	2021年3月期 通期計画(※)	2020年12月期	2019年12月期	前年比 (%)
売上高	342,000	255,118	279,909	▲8.9%
売上総利益	—	27,497	28,510	▲3.6%
(粗利率%)	—	10.8%	10.2%	
販管費	—	23,435	24,335	▲3.7%
営業利益	4,400	4,061	4,174	▲2.7%
経常利益	4,200	3,927	3,912	0.4%
親会社に帰属する 四半期(当期)純利益	2,500	2,371	2,262	4.8%

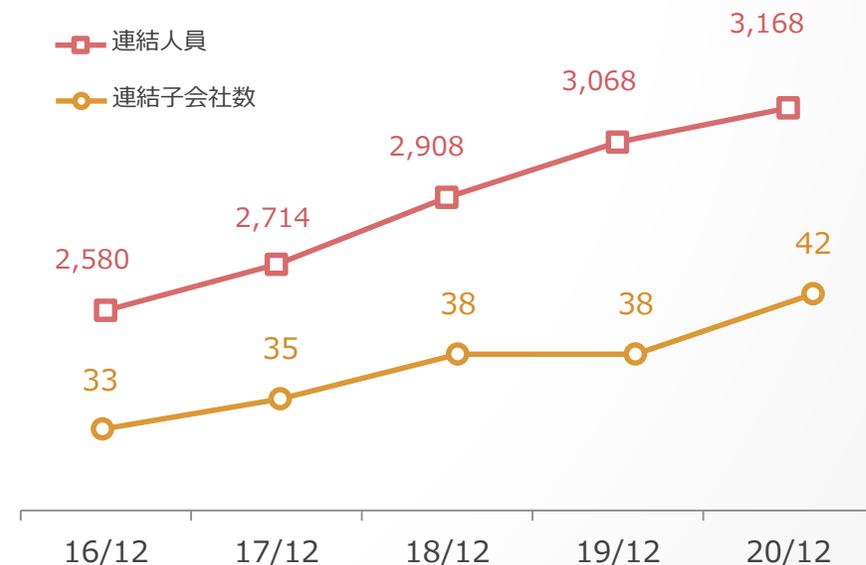
※2021/2/5に業績予想の上方修正を開示いたしました。

## (2) 利益増減分析

### 連結経常利益増減



	主要販管費増減内訳		
	19/12	20/12	増減比率
人件費	13,848	13,763	▲0.6%
販売費	5,806	5,058	▲12.9%
管理費	4,681	4,613	▲1.4%
合計	24,335	23,435	▲3.7%

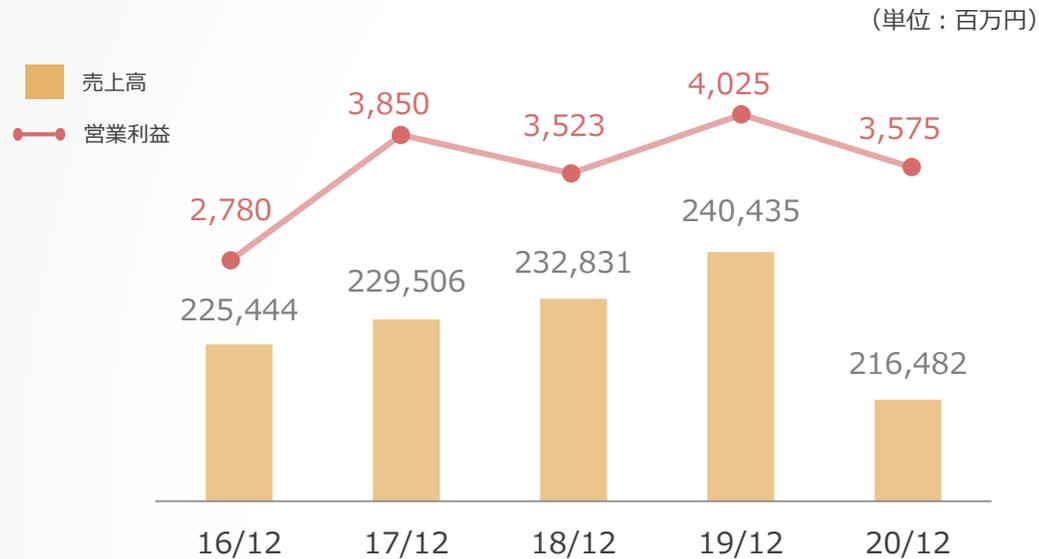


### (3) バランスシートの状況

- 新型コロナウイルス感染症の影響に備え、現金及び預金を厚めにしました。  
また、不測の事態に備え、機動的かつ安定的な資金調達手段を確保するために、主要取引銀行4行との間で合計100億円のコミットメントライン契約を締結しました。
- 当第3四半期連結会計期間末が休日であった為、売上債権及び仕入債務が増加しました。

(百万円)	2020年3月期	2020年12月期	増減
<b>資産</b>	<b>208,602</b>	<b>217,050</b>	8,448
現金及び預金	32,799	41,268	8,468
売上債権	79,924	80,717	792
たな卸資産	23,138	22,120	▲ 1,018
固定資産	70,219	71,295	1,076
<b>負債</b>	<b>166,522</b>	<b>172,693</b>	6,170
仕入債務	101,081	106,648	5,567
有利子負債	46,714	47,737	1,022
<b>自己資本</b>	<b>40,724</b>	<b>42,930</b>	2,205
自己株式	▲ 833	▲ 1,173	▲ 339
その他有価証券評価差額金	884	1,470	585
(自己資本比率%)	19.5 %	19.8 %	

# 当社セグメント別の取り組み



↑ 2020年度 国内最大規模の木造校舎の着工（仮称：流山市立おおぐろの森中学校）↑

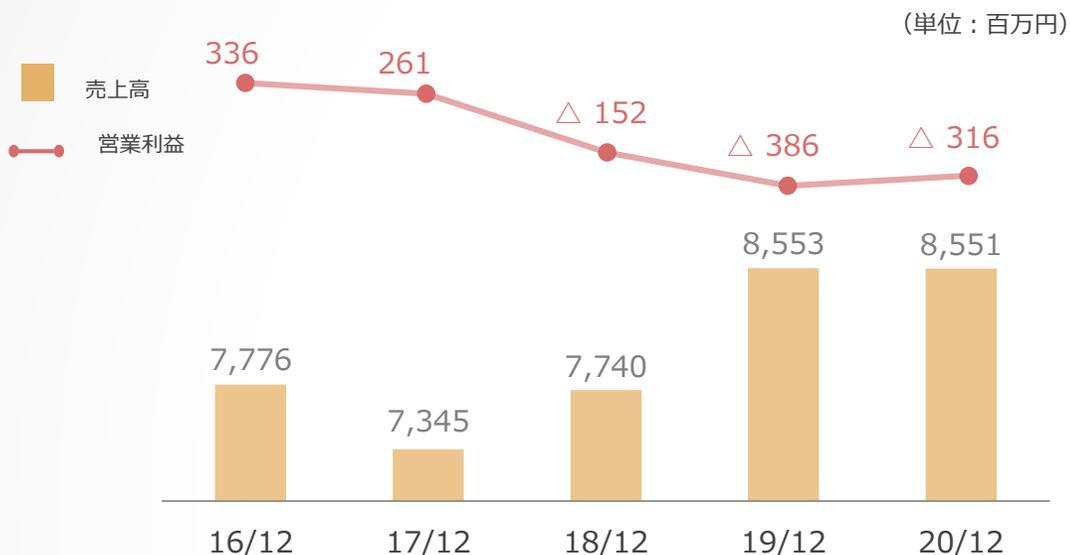
## 【売上減も粗利改善】

新型コロナウイルス感染症の影響もあり、当社グループが主力とする持ち家着工戸数が前年同期から10%減となり、当セグメント売上につきましては、同割合で減少しました。

一方、ジャパン建材の主力商品である合板を中心に粗利率は改善傾向にあることと、当セグメントの販管費が前年同期に比べ減少しており、営業利益率は1.6%と前年と比べほぼ横ばいとなっております。

## ■ 2020年度の主な取り組み

- ・ 電材課新設（ジャパン建材）
- ・ オーシカとの超撥水防湿合板『Benkei LSボード』開発、販売開始（ジャパン建材）
- ・ 春夏に開催していたジャパン建材フェアの中止に伴い、『ジャパン建材フェアのオンライン展示会』を開催（ジャパン建材）
- ・ 営業所の統廃合（ジャパン建材）
- ・ M & Aの実施（井田商事、京都板硝子）
- ・ 国内最大規模の木造校舎の着工（JK木造建築グループ）



↑天皇陛下御即位記念分収造林 植林



↑フンデガーロボットドライブ

### 【山梨合板工場稼働率向上】

当事業の中核を占めるキーテックは、山梨合板工場の稼働率向上に伴い、合板事業の売上高が増加するとともに、売上原価率が減少し、赤字額が大幅に縮小しました。

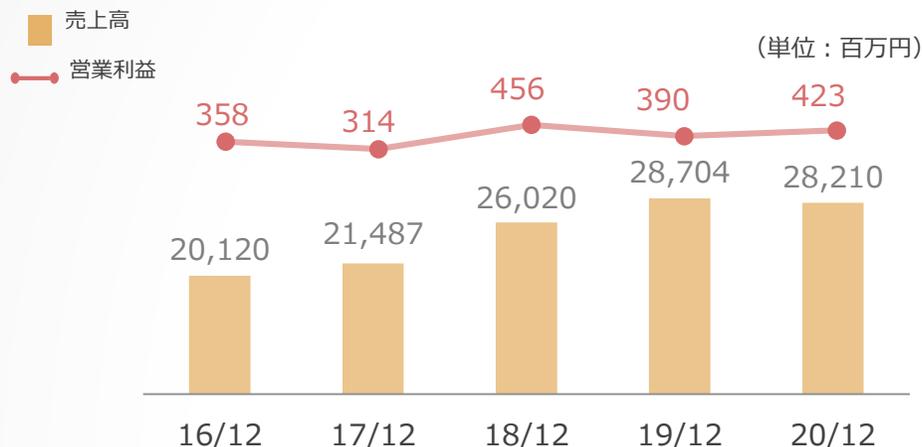
また、当セグメントの販管費が前年同期に比べ減少したことも起因し、営業利益率が▲3.7%（前年同期▲4.5%）に改善しました。

### ■ 2020年度の主な取り組み

- ・ 天皇陛下御即位記念分収造林 植林（キーテック）
- ・ 集成材製造子会社グループ内再編（ティンバラム）
- ・ 非住宅加工事業強化に向けたフンデガーロボットドライブの導入、稼働（ティンバラム）
- ・ 大断面構造用集成材ラインの導入（ティンバラム）
- ・ 設計・製造・プレカット・施工まで一気通貫の請負体制『ウッドストラクチャーシステム』構築（ティンバラム）

### (3) 総合建材小売事業およびその他事業

#### 総合建材小売事業



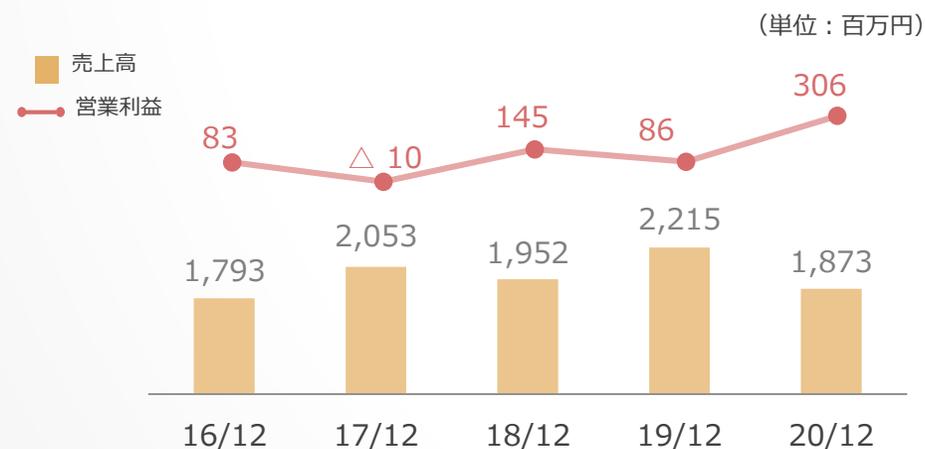
#### 【新連結子会社が利益面を下支え】

当事業につきましては、厳しい状況が続いておりますが、前連結会計年度末に2社、本年5月に1社が新たにグループ入りし、当セグメントの売上、利益面を下支えしており、営業利益率が1.5%（前年同期1.3%）に改善しました。

#### ■ 2020年度の主な取り組み

- ・ M & Aの実施（四辻製材）

#### その他事業



#### 【JKホールディングス大幅な増益】

建設工事業、旅行・保険代理業で新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、大幅な売上減少となりました。

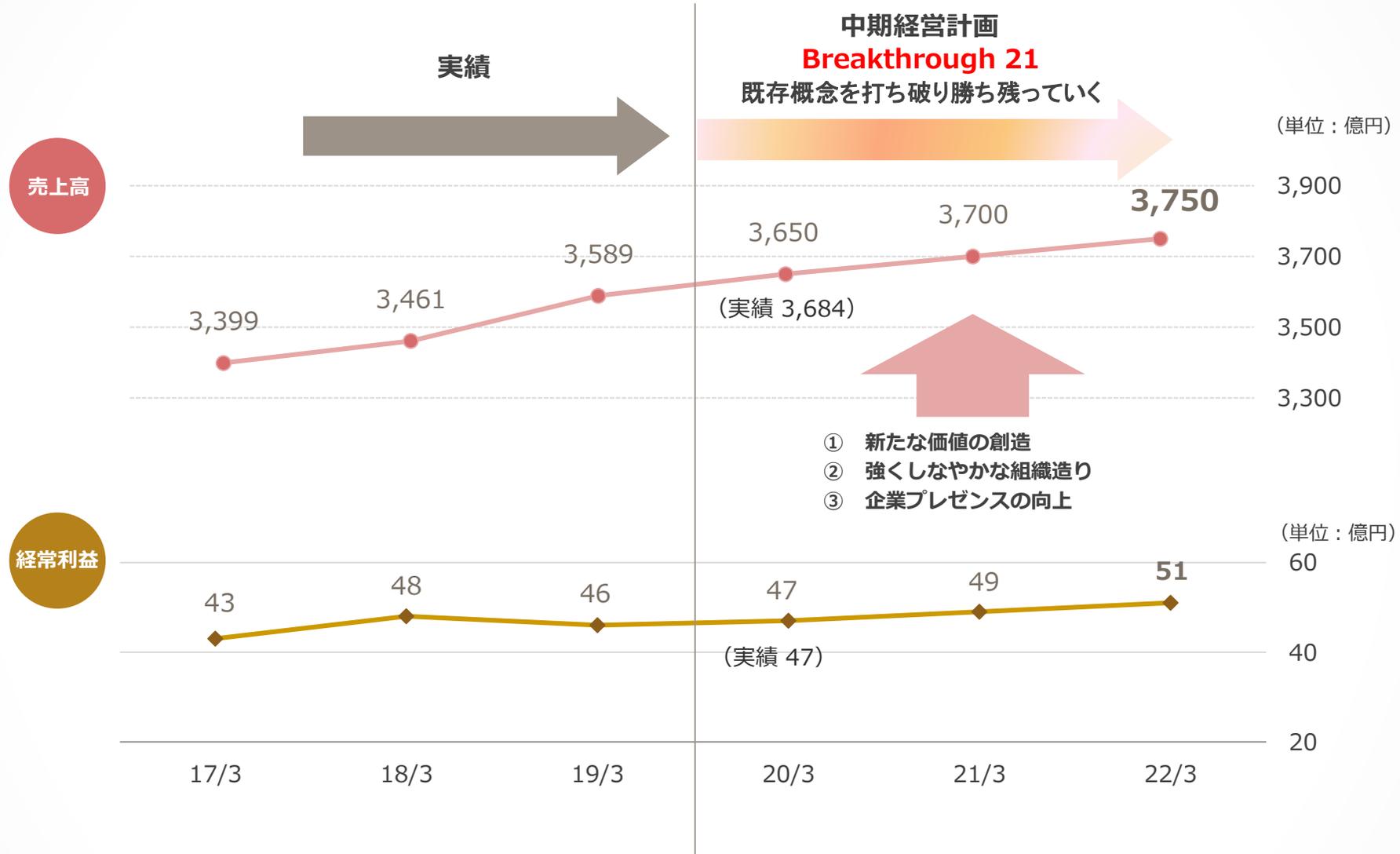
一方、JKホールディングスは販管費の抑制により、大幅な増益となりました。

#### ■ 2020年度の主な取り組み

- ・ バーチャル展示場オープン（JKホーム）
- ・ 豊洲ぐるりパークレストラン竣工（ティンバースケープ）

# 中長期経営計画について

# (1) 中期目標 – 売上高と経常利益の見通し



※上記に記載されている計画は当初の中期経営計画の数値です。

※2021年3月期の業績計画については2021年2月5日に「業績予想修正に関するお知らせ」を開示しております。

(通期 売上計画：3,420億円 経常利益：42億円)

# 「Breakthrough 21」

既存概念を打ち破り勝ち残っていく

### 企業プレゼンスの向上

- ・ 国産材有効活用への貢献
- ・ 木材・合板博物館等への協賛
- ・ I R、P Rの強化

### 新たな価値の創造

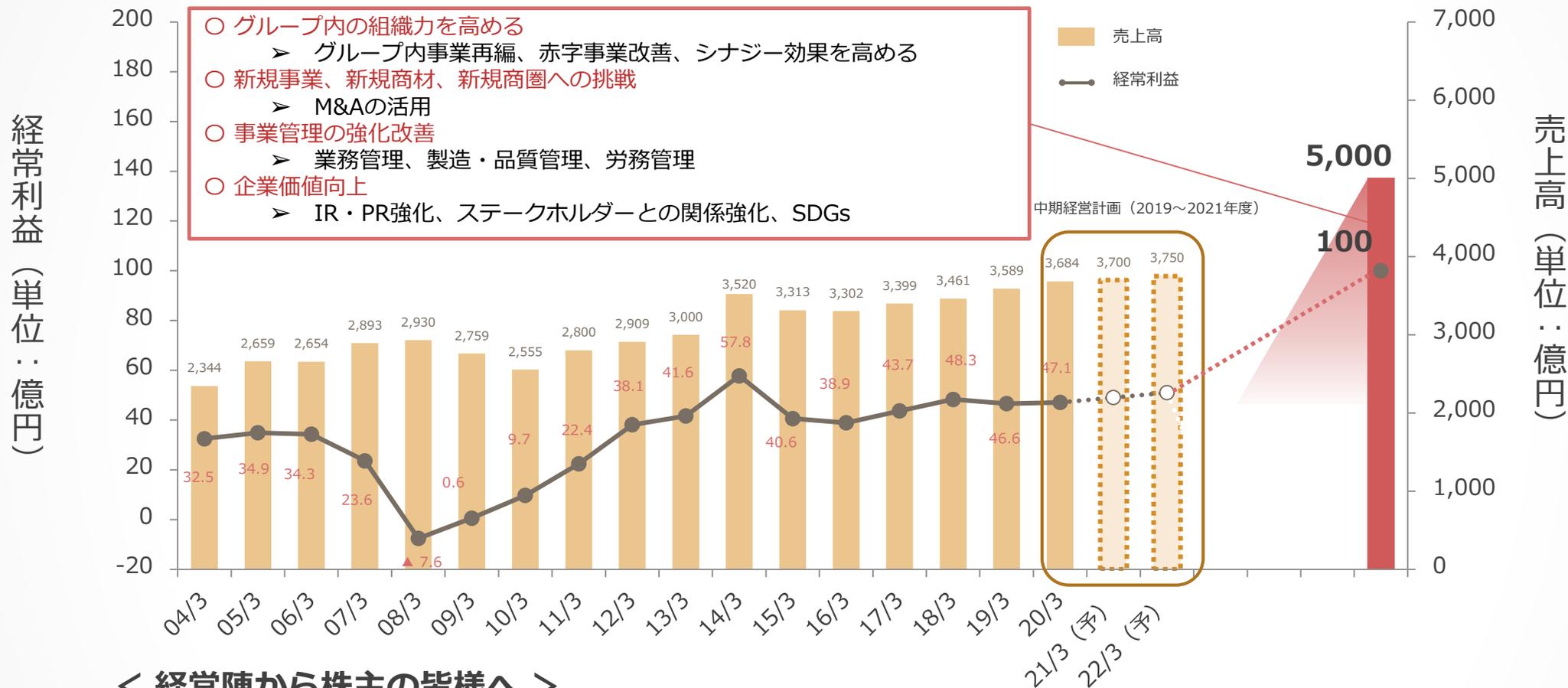
- ・ (株)キーテックが山梨合板工場を新設
- ・ INTERRA Japan(株)を核にE Cビジネスを拡充
- ・ パークP F I・公民連携への取り組み
- ・ 材工一式販売、P B商品、  
J K木造建築グループ等付加価値部門の拡大

### 強くしなやかな組織造り

- ・ ジャパン建材(株)の機構改革
- ・ 海外事業
- ・ 建材小売子会社の再編
- ・ システムインフラの整備
- ・ 木質素材製造子会社の再編
- ・ 業界再編への取り組み
- ・ 働き方改革の実践と人材育成

### (3) 長期経営目標

連結売上高5,000億円、連結経常利益100億円を目指す体制づくりへ



< 経営陣から株主の皆様へ >

業界の変化に対応しつつ、企業価値の向上を目指します。  
 創造性と挑戦心を持って、事業領域の拡大、深耕を進めていき、  
 グループ企業の連携を深め、業界ダントツNO.1グループへと成長していきます。



スマイルが生まれる住まい

**JK Holdings Co.,Ltd.**